

## 第8回：J-SHIS（地震ハザードステーション）による地震情報の調査

- 準備 #1: 地震ハザードステーションJ-SHISを閲覧せよ：  
[URL:http://www.j-shis.bosai.go.jp/](http://www.j-shis.bosai.go.jp/)  
(トップページ：「スタート」ボタンを押す)
  
- 演習 #0: 先ずは、J-SHISの初期画面（確率論的地震動予測地図）にて、以下の例を参考に、諸操作を試行されたい。
  - 1: 参照地点，例：東京スカイツリー，高知県庁，鹿児島駅，出身地，母校etc.
  - 2: 設定震度，例，震度6弱，震度7，震度4
  - 3: 想定年と発生確率，例，30年3%，30年6%，50年2%，50年5%，etc.
  - 4: 震源断層の表示，例，主要活断層，その他の活断層，海溝型断層，etc.
  
- 演習 #1：表層地盤特性(Information of Surface Soil)の調査  
任意地点を選定して，表層地盤の情報を取得せよ。
  
- 演習#2: 確率論的地震動予測地図(Probabilistic Seismic Hazard map)の作成  
任意地点の地震動の発生確率と大きさの情報を調査せよ（1地点）。
  
- 演習 #3: 想定地震地図(Scenario Seismic Hazard map)  
任意地点の震源断層を選定し、その地震による地震動の情報を調査せよ（1地点）。
  
- Key Words:  
基本用語：各自にて，10個書き出せ.  
専門用語：表層地盤増幅率，確率論的地震動予測地図，想定地震地図：